

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		商工会補助事業費〔商工会補助事業〕										
予算科目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	事業番号	2	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	産業振興 課 商工 係					課長名	佐伯 芳幸					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	3 - 4.5			
【施策名】 工業の振興、商業の振興								総合計画書 (ページ)	75.77			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市商工会員					会員数						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市内事業者が抱える様々な問題の相談や、研修やイベント等、事業者が市内の活性化を図れる環境。					経営指導回数及び講習会等							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
東大和市商工会運営及び若手育成事業、空き店舗活用事業において補助金を交付した					補助金額							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	名	911	900	934						
	成果指標	②の数値	回	1531 (1481+50)	1564 (1537+27)	1441 (1395+46)						
	目 標	②の目標値	回	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550				
	目標値設定の考え方 環境変化を考慮しつつも、商工会の経営相談回数や活動総数が増加し、市内事業者の活性化に寄与すると考えた。											
活動指標	③の数値	円	11,137,636	11,335,080	10,947,220							
3 経費	事業費(実績)		円	11,137,636	11,335,080	10,947,220	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	11,137,636	11,335,080	10,947,220						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	2,493,000	2,514,000	2,475,000						
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	13,630,636	13,849,080	13,422,220							
4 環境変化等	(1) 開始年度		S42 年度									
	(2) 環境の変化 令和3年度商工会の組織率は昨年と比べて2.1%上昇し40.1%になったが、依然低い状況であり、組織力強化が課題である。市と連携し創業支援事業や空き店舗活用事業等を実施し、組織強化の取組みも行ったことで、令和3年度は昨年より商工会員が34名増加した。											

事業名称	商工会補助事業費〔商工会補助事業〕			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	空き店舗活用事業において、「市内事業者からの問い合わせが多くあり、事業への申し込みも予定人数を超えた申し込みがあった。事業者支援に役立っている。」と商工会よりお声があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑤補助・助成 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 日頃から市内の事業者の方々と直接的に接点を持つ東大和市商工会と更なる情報共有や意見交換を通じて、市内事業者のニーズをより明確に把握する必要がある。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	今後についても、今まで以上に商工会と情報共有を図り、組織強化や商工業の活性化を図れるよう、商工会と事業について意見交換していき必要な支援を検討していく。用途明確化の方法について、更なる必要性があるか検討していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	新型コロナウイルス感染症の影響が出てきてから、日々刻々と変わる情勢についての共通認識や、必要な支援策を協議する為、連携を図った。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 商工会との情報共有の機会は維持しつつも、市内事業者のニーズの把握と、それに対する効果的な支援策を情勢を見極めつつ検討していく必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 工業の振興、商業の振興 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市内の商工業の活性化に向けて、変化する情勢を見極めつつ、限られた予算で、最大の効果を発揮できるよう事業の推進を図る。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 商工会との連携を更に強化するため、情報共有を密にする。国や東京都の動向を踏まえ、コロナ禍の厳しい状況下にあっても、事業の継続に向けて努力している事業者の後押しとなる事業の情報収集や、市としてどのような支援策が必要なのかを検討し、実施していく必要がある。			